

生分解性樹脂を用いた環境に優しい花火玉皮の開発

メディカル関連商品、自動車部品から生分解性樹脂製品まで、環境をテーマにオリジナリティ溢れる製品を発信。生分解樹脂製玉皮の開発では、500コマ/sec の高速度カメラを用いて、丸く広がる花火の再現性を追及。

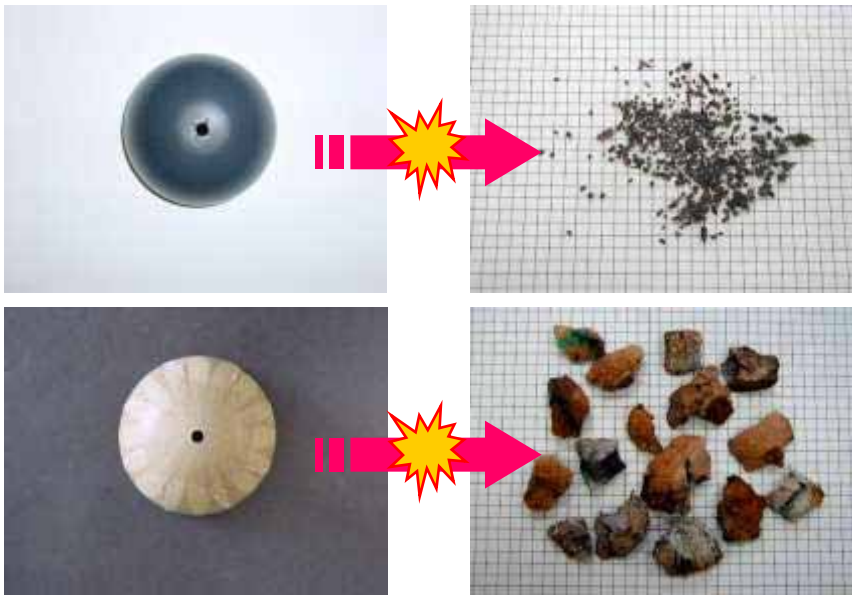
常識を覆した「環境にやさしい花火」

花火の打上げでは、燃え尽きなかった玉皮の破片が散乱することから、環境面の影響が懸念され、破片の回収に多くの労力がさかれている。また、尺玉などの大きな花火では、重さが1kg以上の破片が落下することもあり、見物客の安全面の問題も抱えていた。株式会社セーコンは、この問題に着目し、木粉や粉殻等をブレンドした生分解性樹脂を用いて、安全で環境にも配慮した新しい玉皮開発に成功した。（「第1回ものづくり日本大賞」優秀賞受賞）



美しさ、環境、安全の追求

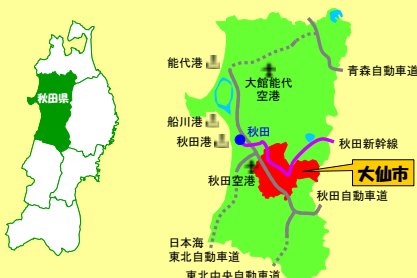
玉皮は、打上げ後に非常に細かく粉碎されるように、何度も実験が繰り返された。これにより、落下時の事故が防止できることに加え、これまで以上に大きな円形に開く美しい花火が実現した。破片の回収の必要がなく環境にも優しいこの花火は、地元で毎年開催される全国花火競技大会（「大曲の花火」）でも3年連続で打ち上げに成功しており、第80回全国花火競技大会（2006年）においては、80回記念の特別花火として同大会のオープニングを飾った。



玉皮とその破片（上：生分解樹脂製、下：紙製）

様々な商品へのチャレンジ、社会への貢献

同社は、工業用プラスチックを素材とした超精密成形を得意とし、最先端の技術開発から成形、品質管理まで一貫した製品づくりを行っている。主力製品は医療関連商品、自動車関連部品、プラスチック成型用金型等であるが、環境や安全をテーマにオリジナリティ溢れる商品を次々と発信している。秋田県の豊かな自然環境が、自社の生産システム、高い精度と品質を支えていると考え、自然と地域に溶け込んだ職場づくり、社会貢献を目指している。



株式会社セーコン

秋田県 大仙市北檜岡 141-2
1972 年（昭和 47 年）設立
TEL 0187-72-4588



代表取締役 今 東久雄